
鈍感ダブルの恋愛問題

雪夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鈍感ダブルの恋愛問題

【Nコード】

N7780M

【作者名】

雪夢

【あらすじ】

鈍感おバカ少女

七川愛奈夏

と、

鈍感秀才少年

山中祐治

の、

恋愛もんだい。

2人は無事付き合えるのか!?

WWWWWW

ミッドヴィン? (抱書お)

よるくぐりお。(・・3・)あ

ミドリムシ？

私の名前は七川 愛奈夏。言ってしまうが、私はバカだ。数学のテストが7点位のバカだ。

「なーなーわーまーなーかー。」

「はいいつ。」

「この問題解いてみる。」

「えー…。2？」

「違う。3分の2だ。」

また、間違えた。

はあ…。中学入って早々つまづいてるし…!!
何やってんだろ。
恥ずかしすぎ!

「愛奈夏…。愛奈夏？愛奈夏！」

「はいい！」

「またその返事（笑）」

「なんだ。のんかあ。」

「なんだってひどくない？」

「ゴメンゴメン。」

この娘は、中野 希美。
幼稚園からの友達である。明るいけど、優柔不断な所もある。

「で、どうした？」

「皆で夏休み遊び行こうて。」

「補習無いといいな。」

「勉強しろや。」

「してるもん…。」(泣)

「頑張つて？」

「頑張るよ。」

「そっか！。」

「うん。」

「って、なんだ！？ このフィンキ！」

「マジ笑い堪えるの大変だったんだからね！」

「堪えられてエライね〜。」

「なんか、キモチワルツッ。」

「あ、時間。じゃね。」

「じゃね。」

・理科・

「はい。じゃあ、何があると光合成するかわかる人〜。」

「……………」

「じゃあ、七川さん。」

「えゝ。えつと、ミドリムシ？」

「ええー…。葉緑体ですね。」

またやつちやったあゝ。 もう、祐治君に嫌われちゃうよあ（泣）

鈍感な愛奈夏は、これが
恋だとは気付いてませんでした。

まさかの恋発覚？（前書き）

まさか〜。

まさかの恋発覚？

・帰りのHR・

「でわ、明日テストですからね。」……。ええ！？

・帰り道・

「うう。てすとヤダ〜！」

「でも、結構前から言われてたし。愛奈夏でも大丈夫でしょ。」

「……。ええ！？」

「知らなかったの！？」

「うんっ」

そんなの聞いてないよ！？

「おバカなんだから話し聞いてなさい？」

「はあい。はあ、ゆうじ君に嫌われちゃうよ。」

「ええ！？愛奈夏ゆうじのコト好きなの！？」

「はあ〜！」

なんで！？でも、そうなのかなあ？

「そーゆうの恋つうんだよ！」

ええ。そうなんだあゝ！

「愛奈夏のハツコイは優秀ゆーじかあ。」

私、七川 愛奈夏。

まさかの初恋は、優秀君でした…。

まさかの恋発覚？（後書き）

気づいたね（・ω・）

祐治目線（前書き）

（ ） b 祐治登場

祐治目線

マジめんどいな。

授業。

「じゃあ、七川さん。」

お？七川？

「……。ミドリムシ？」

ぶはっ！ ミドリムシ！ ウケる！ やっぱ七川サイコーだな。

・帰り道・

「七川サイコーだな！」

「何だよ。毎日七川の話ししやがって！」

「はあ！？ そんなにしてっか？」

「してるよ!」

「じゃあ、健吾またなあ。」

「ちよつ、話しの続きは?」

「ナンノコと?」

「逃げるなあ!」

そんなに七川の話してんのか?

ん?あれ七川 愛奈夏だよな?

ドキドキしてきた。。。

ん? なんでドキドキしてんだ? あ、緊張してるからか。
まあ、そんなに女子と話さないからなあ。

祐治目線（後書き）

（
；
A
）

愛奈夏&祐治（前書き）

きたよグタグタ…。

愛奈夏&祐治

愛奈夏目線？

「べつつに、間違えたから嫌われる訳じゃないでしょ？」

「そうだけども…。」

「な、七川っ。」

「！？ 祐治君！？」

何でここにつて、今日部活全部ないからか…。ヤバい緊張するよっ！

「じゃあ、用事あるから」（ニヤニヤ）

「ちよっ。のん！？」

何で気まずくすんの…。

「一緒に帰らないか？」

「うんっ。いーよ」

なんつつ偶然。。ま、いつかぁ！。

「なあ。」

「な、な何！？」

「そんなかたくなんなよw俺も緊張してんだし。」

「ほえ？ 緊張してんの！？」

「当たり前だろwww」

嘘だぁ…。めっちゃ笑顔じゃんかよぉ…。

「なあ。好きな人とか居るかぁ？」

「は！？」

何いきなり！ てか、あなただよとか言えるわけないっ。

「居る…のか？」

どうしよう。。。

「……うん。」

「そうか…。」

ちよっ！！ 何で落ち込んでんの！ どうしよう！？ ちよっ、落
ち着け自分！

祐治くんがやらかすぜ
↑

ちよっ、この慌ててる生き物可愛い／／／

「落ち着けよwww」

「う、うん。」

ヤバいつい本音がwww

あ、わかった。これが、「好き」ってコトかwww

マジかよ／／／てか、さっき好きな人居るって言ってた〜！！

告る前の失恋悲しいなあい。

初恋気付いていきなり失恋と、かwww

「ちょ、何で泣いてんの〜？」

泣いてる？ あ、俺泣いてた〜
↑
ハズイハズイハズイ／／／

よし、ダッシュで帰ろう。

「っ／＼別につ。じゃあなっ」

「ちよっ、祐治くん!？」

かっこわりいなあ；

ちよ。涙止まんない！

ダレカタスケテ

。愛奈夏。

いきなり泣いていきなり走って帰っちゃって。

どうしたらいいの!？

あー!こっゆつときは、、、

ちゅ、皆で、（前書）

キャラ崩壊ビドイ…。

「さあ、皆で♪」

。愛奈夏。

「こうゆうときは、カラオケだっ！ 明日皆で行こうと！」

・次の日の放課後・

「ゆ、祐治くんっ。」

「あ、どうした？」

「今日、あいてるかなあ？」

「おう。あいてるけど…？」

「皆でカラオケ行こう♪」

「ちょー行くよね？」強制かよノン？」

「のんっ！行くよね？」

「もちろん♪」

「あ、いーなーカラオケ俺も行きたい!」

「あ、健太かよwww」

「ちよつ、悪いか!？」

「悪いね(笑)」

「愛奈夏まで敵!？」

「さあ、行く」

「のん怖い。」

・カラオケ・

「さあ。歌お!」

「皆でこれ歌お♪」

「本気ボンバー!？」

「イナズ○イレ○ンw w w」

ε|| ε|| (ノ)ノ
なんだかんだで1時間♪

「あ、もー帰らないと!」

「行くか。」

いつの間にか仲良しになってたときチャンチャン

さあ、皆で♪（後書き）

もう終わり♪

最終回（前書き）

眠いから放置しない内に完結しちゃいます…。

最終回

2月14日

「なんだかんだもう冬だなあ。」

「早いね」
↑

「祐治くんっ話しいいかな？」

「おう！」

・多目的室・

「あのさ！今日何の日わかる？」

「？いや。」

「もう！！バレンタインデー！だから……好きですっ／＼／」

「……。はあ！？俺でいーの！？見る目ないなｗｗｗｗちよっ、嬉し
いてか落ちて着け自分。」

「ワケわかんないよｗｗｗｗ」

「あ、ああ。」

「返事ちゃんと言って？」

「／／俺も、好きです／／／」

「ハズイ！」

「ハモった！！」

「ぶっ。」

「帰ろう。愛奈夏！」

「うんっ祐治！」

嬉し恥ずかしバレンタイン♪

無事に想いは届いたってコトだな！

クリスマス？それは御想像にお任せしますよ。

では。

最終回（後書き）

グタグタf（^^；

眠い（p w ~。）。*。

放置しまくって止めない内に完結させました。

すいませんでした！

どうでもいい話。

嵐夢は、イナズ。イレ。ンが好きな腐女子です。

9月6日AM3時02分

完結
↑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7780m/>

鈍感ダブルの恋愛問題

2010年10月14日07時26分発行